

「岐阜の石積み学校」の開催について

2015 年 8 月 22 日より 4 日間、中津川市付知町にて、岐阜大学工学部社会基盤工学科准教授の出村嘉史（景観計画、都市形成史）が、下記の体験プログラム「岐阜の石積み学校」を実施します。社会的な意義が大きい企画ですので、是非報道いただければ幸いです。

先人たちが残してくれた「石積み」（空石積み）は、山から土砂が流出するのを防ぎ、一次産業を支え、日本の風景を美しく価値のあるものになっている重要な資源です。そして、手で積むことのできる石積みは、人の手が関わり続けさえいれば、ほぼ永久に保つことのできる持続可能な方法です。しかし、この技術は、最近ではほとんど使われなくなっているため、今、放っておくと失われてしまいます。

そこで、岐阜大学からもこのことについて発信し、技術を学ぶ全国の学生や若手社会人を対象にして、まずは石積みを経験するプログラムとして、「岐阜の石積み学校」を開催することにしました。石積み体験をするプログラムは、全国でも少しずつ始まっているようですが、全国の若者を対象にして合宿形式で行うことは、あまり多くありません（徳島で実施されている同様のプログラムは、グッドデザイン賞を受賞しています）。今回、地域に遺っている石積みの技術を石工・早川雅幸さんらから学び、現存する石積みの修復（解体し、再構築する）を実践します。

開催地は中津川付知町で、東濃森林管理署のご協力を得て、古事の森の中にある大滝新道の一部で実践的な石積みを行います。大滝新道は、明治期に信州へ抜ける街道として整備されたもので、付知町の歴史にとって意義深い道です。この道は、石積みによってその大部分がつくられており、ここでの石積み体験は、そのままこれを修復して道を蘇らせる社会貢献につながります。

地域に対しては、重要な遺産を蘇らせる御手伝いになるばかりでなく、技術継承のきっかけ、当地の地域的魅力的発信など多面的に貢献することになります。

大学としては、超域的な交流の場づくりとなり、実践的な教育の機会が得られ、次世代に必要な、視野が広く実践力の高い人材育成ができます。

受講生は、上記実践を通して、技術の実践や成し遂げるためのチームワークづくりのトレーニングになるばかりでなく、地域社会を支えるために必要な実践的知恵を学ぶことができます。

企画・運営：	岐阜大学工学部社会基盤工学科 准教授	出村嘉史
協力：	古事の森育成協議会 会長	三浦八郎
	NPO 法人パイオニア	曾我亘之



若手社会人も参加OK

学生募集！ 岐阜の石積み学校

伊勢神宮へ送り出す御神木の里 付知で、石積みを学ぼう！

岐阜県中津川市付知の石工から石積みを習う学生向け合宿を開催します。
石積みと同時に森林の手入れの体験もでき、山を治めること川とのつながり
を実感することができます。

2015年8月22日（土）～25日（火）

場所：岐阜県中津川市付知町地内

王滝新道という明治初期に開かれた飛騨・美濃から信州へ抜ける画期的な
ショートカット街道の跡の石積みを積み直し、トレイルをつくります。

対象：土木・造園・景観・地域活性化を学ぶ学生
興味をもって学びたい若手社会人

参加費：学生 10000 円、社会人 20000 円（いずれも宿泊費・保険料込み）

申込締切：8月2日（日）迄

応募の際は、氏名・所属・志望動機を添えて、下記までお申し込みください。
申込み・お問い合わせ：demu@gifu-u.ac.jp（岐阜大学准教授 出村）

「岐阜の石積み学校」プログラム案内

平成 27 年 8 月 22 日（土）～25 日（火）

1. 集合場所・時間

8 月 22 日（土） JR 中津川駅前 10 時

2. 参加費：大学生 10,000 円（食費別） 社会人 20,000 円（食費別）

3. スケジュール

8 月 22 日（土）

始業式→ふれあいの森林にて林業体験（下草刈り・間伐・炭焼き）

→交流会（含講話：付知林業・大滝新道案内）

8 月 23 日（日）

古事の森にて、石積み作業

8 月 24 日（月）

石積み作業→作った炭でバーベキュー

8 月 25 日（火）

終業式→意見交換会（12 時終了）

4. 開催場所：中津川市付知町内

- ・ 林業体験場所：付知町吉本市有林（ふれあいの森林）
- ・ 石積み場所：古事の森内（大滝新道） ※ ここは全ての携帯の圏外です。
- ・ 宿泊（合宿）場所：倉屋神社境内

